

(株)ニッポン 第2四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想
< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	157,535	111.9	5,869	140.0	7,362	143.1	5,235	147.9
2021年3月期第2四半期	140,735	—	4,192	—	5,146	—	3,539	—

(注) 2021年3月期第2四半期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。なお、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、遡及適用が行われたため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間においても、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、お客さまの安全・安心、従業員の健康を最優先とし、国内外全ての製造拠点で生産活動を継続することで、食品企業としての社会的責任を全うする事業体制を維持してまいりました。

事業別の状況としましては、業務用食品では、緊急事態宣言に伴う大型商業施設への休業要請、飲食店への休業・時短要請が外食産業を中心に大きな影響を及ぼしているものの、前年同期と比較すると需要は回復傾向にあり、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類では、家庭内での内食需要が依然として高く、また、コロナ禍を機に食事に手軽さを求めるお客さまが増加したこともあり、冷凍パスタが堅調であったことに加え、1食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズや「いまだきごはん」シリーズ等が好調に推移し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

中食事業では、テレワークの継続や外出自粛による需要低迷の影響を受けたものの、前年同期と比較すると需要は回復傾向にあり、売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、当社グループは、本年7月7日に発生したサイバー攻撃によるシステム障害に係る諸費用として特別損失を計上したものの、売上、利益ともに前年同期を上回り、売上高は1,575億3千5百万円（前年同期比111.9%）、営業利益は58億6千9百万円（同140.0%）、経常利益は73億6千2百万円（同143.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億3千5百万円（同147.9%）となりました。

< 連結業績予想 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 通 期	320,000	111.0	11,100	107.0	12,700	100.3	9,000	104.2

第3四半期以降も、新たな変異株の発生から、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せず、また原材料価格の高騰や為替相場の動向など、依然として当社グループを取り巻く事業環境は先行き不透明な状況が続くと見込まれることから、現時点においては、2021年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。

以 上